

## 「とよあけ未来カイギ」アフタートークを開催しました！

### ～ とよあけ未来カイギ アフタートーク 開催レポート ～

2025年8月2日(土)9 時半～正午、豊明市役所にて「とよあけ未来カイギ」アフタートークを開催しました。第6次総合計画策定にあたり、豊明市のまちづくりを市民の皆さまと一緒に考える機会として、2024年9月から11 月にかけて全3回開催し、たくさんのご意見やアイデアをいただきました。

今回は、これまで市民の皆さまと創り上げてきた第6次豊明市総合計画(2026 年度～2031 年度)の素案が出来上がったため、策定に携わっていただいた「とよあけ未来カイギ(市民ワークショップ)参加者」および「市民活動団体インタビュー参加者」に向けてフィードバックすることを目的に開催しました。

以下、当日の様子をご紹介します。

### ■冒頭に市長からあいさつがありました！

アフタートークの開催にあたり、小浮市長からあいさつがありました。内容の一部をご紹介します。

総合計画の冒頭に記載予定の市長のあいさつ文を考えている。「どうしても伝えておきたい」というご意見があれば可能な限り取り入れていきたい。計画を策定すること自体が目的ではなく、計画が今後のまちづくりの羅針盤となり、市役所はもちろん、皆さまの行動の指針として活用していただくことで、くらしの質の向上につなげていくことが本来の目的である。一緒に次の展開を考えていきたい。



### ■総合計画審議会会長の新沼先生からあいさつをいただきました！

総合計画審議会の会長である桜花学園大学の新沼教授をお招きし、総合計画策定のポイントを含めてあいさつをいただきました。内容の一部をご紹介します。

総合計画の策定にあたっては、10 年後、20 年後、そして子どもたちや孫たちにどのようなまちを残したいかを考える必要がある。今この豊明に住んでいる皆さまが、「豊明市をどうしていきたいか」「将来、子どもたちにどんなまちを残したいか」といったことについて、知恵を出し合いながら一緒に考えていけたらと思う。



### ■総合計画素案について事務局から説明

これまで市民の皆さまの意見を多数取り入れながら素案を作成してきました。いただいた意見を紹介しながら、策定経過や素案の概要について説明しました。

将来都市像が「未来へつなぐ みんなでつくる しあわせのまち とよあけ」に決まったことや、市民幸福度の向上を最上位目標に掲げ、10点満点中 6.77 点以上を目指すことを共有しました。

計画の推進にあたっては、今後も市民参画や子どもの意見を取り入れ、持続可能なまちづくりを進めていきます。

② 将来都市像	
未来へつなぐ みんなでつくる しあわせのまち とよあけ	
〇められた思い	
未来へつなぐ	一人ひとりの取り組みによって「豊明市」の未来がより良いものへと変わっていく。自然や歴史などの資源だけでなく、人や組織の力もそれぞれの世代が次世代に受け継ぎ、持続可能な「未来」を築きます。
みんなで作る	「作る」「育てる」など、人によってつくるものに違いはあれど、多様な個性、種々の有様、異なる文化及び価値など多様な価値観を尊重し合いながら、人と人がつながり、支えあひ、まちづくりに関わることで、豊明市らしい地域づくりを創出します。
しあわせのまち	物質的な豊かさだけでなく、精神的な豊かさ、安心感、人間関係の充実など、誰にでも価値があり、地域全体が心豊かに暮らすことができ、笑顔があふれ、それぞれの「しあわせ」を実現できるまちを目指します。

### ■アフタートーク(グループトーク)

素案の概要説明をした後、アフタートークと題して将来都市像「未来へつなぐ みんなでつくる しあわせのまち とよあけ」の実現に向け、4つの重点戦略(育み・学び／支えあい／住みやすさ／賑わい)ごとにグループに分かれ、意見交換を行いました。主なアイデアを共有します。

育み・学び	・各家庭だけでなく、地域全体で子どもの一人ひとりの成長をサポートできる人(ボランティア・市民活動)を養成する。 ・子育て世代に選んでもらえるまちにするために、何でも相談できる窓口や子どもの送迎などを充実させる。
支えあい	・認知症カフェのイメージアップ。人が集まり、知ってもらうためのカフェにしたい。 ・市民健康ウォークの開催。短いコースを用意し参加のハードルを下げる。
住みやすさ	・外国人も町内会に入れるように、説明の機会をつくったり、町内会に加入したいと思うような行事を企画する。 ・地域で防犯パトロールを実施することで、安全安心な生活につながる。
賑わい	・桶狭間古戦場の歴史を子どもたちに知ってもらうため、展示会などを開催する。 ・食を通じた観光の取り組みとして、古戦場ランチなどを企画する。

### ■アフタートークの内容を参加者が発表！

アフタートークの内容について、各グループの代表者が発表しました。まちづくりのアイデアとして、「子育てについての悩みなどを相談できる場を一旦受け止めてくれる場所や、オンラインでも相談できるとよい」「認知症カフェという名称から、認知症でないと参加できないと認識してしまう人も多い。認知症を知ろうというコンセプトで周知すれば、人が集まりつながりができる」「きれいで人が集える公園があると魅力的」「全国的にも有名な桶狭間古戦場を活用して豊明市をもっとPRする」などさまざまなアイデアをいただきました。どのグループからも前向きな意見交換や斬新なアイデアがたくさん出され、トークが盛り上がっていました。



### ■閉会・お礼

閉会にあたり、新沼先生から講評をいただいた後、市長からご参加いただいた皆さまにお礼を申し上げ、引き続き市政へのご参加・ご協力をお願いしました。

最後に記念撮影を行いました。改めて、「とよあけ未来カイギ」にご参加・ご協力いただいた皆さまには厚く御礼申し上げます。





パブリックコメントへの対応について

計画案に対し、市民の皆さまからの意見・提言等を広く聴くため、パブリックコメントを実施しました。

【募集期間】 8月18日(月)～9月19日(金)   【公表方法】 市公式ホームページ、企画政策課窓口(本館3階)、市政情報コーナー(本館1階) 【意見件数】 11件

No.	ご意見・ご提言	豊明市の考え・対応	総計との対応 (素案該当ページ)
1	斜め読みですが、非常に共感しました。増加させたい世帯像(ペルソナ)を明確にした方が良い気がします。全方位には出来ないのでは。例えば子育て世帯といっても、働いている自治体や職種、子育て方針など様々。一市民としてはIT技術に強い世帯(トヨタの自動運転技術者や名古屋で働くIT企業)、子供も技術者を目指しているような世帯が良いと思います。豊明を技術的に支える層を作る意味でも(そういう意味では先日スマホ条例は面白かったです)そのうえでどうアピールしていくか。アピールやイメージ戦略が必要かと思いました。素材はいいんですね。競馬場はきれいだし子供の遊び場にもなっているし、有名企業もそれなりにある。でも何となく古臭くてさびれている印象がある。少なくとも不動産屋が豊明を一押ししてくれるようにしたいですね。	ご指摘のとおり、子育て世代が住み続けたいくなるまちを目指すにあたり、市民はもちろん市外の方へのアピールやイメージ戦略が重要であると認識しております。 第6次豊明市総合計画策定にあたり実施した調査では、「若者の定住意向が低い」ことや「まちに魅力やにぎわいが無い」ことが分かりました。 本計画の重点戦略として位置付けた第3期豊明市総合戦略において、市内外から人が集う魅力的なまちを実現するため、都市拠点、地域拠点のブランディングを推進するなど、分野に捉われないこと、横断的な取り組みの展開を図ります。	総合戦略 ひとが集うまち創 生プロジェクト (34～38)
2	<p>＊提案タイトル： マイナンバーカード更新時期の事前通知制度の強化について</p> <p>＊提案内容： 現在、マイナンバーカード有効期限が更新時期に近くなると行政から市民に対し電子証明書の有効期限通知書が送付される。これとは別に「メール・SNS他」、オンラインでも更新可能な制度導入を提案します。これにより更新忘れを一層防ぎ、市民の利便性と安心感を高める事が期待出来ます。</p> <p>＊期待出来る効果</p> <p>1. 更新忘れによるトラブルの防止</p> <p>2. 高齢者・障がい者への配慮(訪問支援等)</p> <p>3. 行政サービスの円滑な利用促進</p> <p>4. 市民が豊明市に住んで良かったと言う満足度向上</p> <p>＊その他(自己管理事例)</p> <p>マイナに運転免許・保険証が結ばれた時3つのカード有効期限(1年～5年)が違い自己管理は非常に複雑になる。</p> <p>＊マイナンバーカード:5年   ＊運転免許証:3年・5年</p> <p>＊後期高齢者資格確認書:1年   ＊介護保険被保険証</p>	ご提案くださりありがとうございます。本計画は、計画的かつ総合的なまちづくりを推進するための目標を明らかにするものです。具体的事業は、毎年度策定する実施計画や各課の個別計画において取り組んでまいります。 マイナンバーカードの手続きに限らず、窓口におけるさらなるワンストップサービスの実現に向けて、各種行政手続きのオンライン化など、市役所に行かなくても必要な手続きができるよう市民目線での利便性向上を図ります。	行政推進項目1 市民サービスを向 上する (63)
3	<p>・取り組むべき優先事項、具体的にどのように青写真を造り実施していくのが計画案からは見えてこないことです。期間は6年です。とても短いです。期間にとらわれ課題を対処療法的に実施しては6次以降に継続することは非効率と思われる。まずは30年後、50年後どのように豊明市が発展した都市になっているのか全体像を創造しその推進の為に具体的計画を各年次毎に実施していくことが安定した「めざすまちの姿」の実現に繋がるでしょう。</p> <p>・数十年後の未来像を描くには、今ある資産、周辺の環境、世界の政治状況をよく考察することでみてくるでしょう。</p> <p>・豊明市は資産として広大な農地、空地があり最新医療設備の整った藤田学園、中京競馬場があります。</p> <p>・周辺には名古屋市、学園都市の日進市、企業都市の豊田市、工業都市の刈谷市があります。</p> <p>・世界状況は政府の指針にただ従うだけでなく、自ら情報を集め実際起こっていること、起こりうることをよく見極める事も必要でしょう。</p> <p>・これらの観点から、日本全体の近々の課題として高齢化社会に伴う多くの懸念事項、食糧自給率、経済、特に中小企業の活性化が挙げられると思われます。</p> <p>・暮らしを考えると良質な教育機関、文化、芸術の充実した設備を提供することにより個々人の向上心や認識をさらに高め充実した生活に繋がるでしょう。</p>	本計画の計画期間は6年間ですが、将来都市像及びめざすまちの姿等を設定するにあたっては、10年後20年後を見据えたバックキャスト方式を活用し検討を進めて参りました。「豊明市の強み・弱み」を記載するにあたっては、豊明市だけでなく国の動向や周辺自治体の状況も含めて、今後考えられる機会や起こりうる脅威を踏まえて整理しています。 多くの人が市内で働きたいと思えるような職場環境づくりを支援するとともに、商工業が発展するための取り組みを進めます。農業においては、地産地消を推進するとともに、農業者が安心して農産物を生産できる環境を整え、産業全体の活力が高まるように努めます。誰もが心身ともに健康で充実した生活を送れるような取り組みを充実させるとともに、文化やスポーツ活動等を通じて生きがいを持ち、多世代が活躍できる機会をつくります。 本計画は、計画的かつ総合的なまちづくりを推進するための目標を明らかにするものです。具体的事業は、毎年度策定する実施計画や各課の個別計画において取り組みます。	総論 (15～18)
4	・具体案を挙げるならば高齢化社会に必要とされる介護支援があります。研究機関も充実している藤田学園があり周辺の開発も活発になっています。ここを学園都市として豊田市、刈谷市とも連携をとり医療用ロボット開発を豊明市が中心となって参入して頂きたいと思っています。今後高齢者の増加は必須ですので医療、介護、施設などを更に充実する必要がすでにやってきました。一方、能力のある若い人の才能が活かせる職場がなくてはならないと思います。介護に関しては自分の人生をクライアントに捧げるくらいの覚悟がないと務まりません。とても増加傾向の要介護者には追いつきません。ロボット工学を実用化して若い人に頼ることへの負担を減らし、若い人の精神、能力を未来に向けることが発展に繋がります。介護事業だけでなく医療分野での工学テクノロジー、病院内の看護、移動インフラのオートメーションなど、医療機関と機械工学の資産が豊明市で有意義に交流できればモデル市として愛知県全体としても大きく発展するでしょう。	高齢化社会において、医療、介護などをさらに充実することは重要であると認識しています。本計画において、「医療や介護の環境が整っており、誰もが安心して暮らせるまち」をめざすまちの姿に掲げ、高齢化社会も見据えた高齢者の健康事業と介護予防の一体的実施を進めます。	めざすまちの姿3 医療や介護の環境 が整っており、誰も が安心して暮らせる まち (45、46)
5	・食糧自給を考えるならば医学バイオテクノロジー、工学部それらの資産を利用して農業研究開発への応用は可能だと思います。名古屋市、豊田市の大学研究機関とも連携をとり、植物工場を構想するのも考えられます。	「自分らしく働く場所があり、産業が盛んな活気あるまち」をめざすまちの姿に掲げ、将来にわたって困らない環境を維持するため、地域農業に必要な優良農地を維持するとともに、農業者・農業法人が安心して農産物を生産できる環境を整えます。 また、農業分野に限らず、効果的・効率的な行政運営を行うため、幅広い分野での民間活力の導入や自治体間連携による取り組みを進めます。	単位施策10－2 農業 (61、62)
6	・新開発が行われれば、交通インフラも整えないければならないでしょう。例えば徳重から藤田学園、競馬場周辺、前後への地下鉄開発で通勤の利便性が格段に良くなり道路の渋滞も緩和されると思います。その他周辺市への地下鉄の施工計画も検討が必要でしょう。	「いつまでも住み続けられる、安全で快適なまち」をめざすまちの姿に掲げ、土地利用構想に基づき、土地区画整理事業や民間開発事業などにより、魅力的な市街地を計画的に整備します。 現在、地下鉄の施工予定はありませんが、市内商工業の発展と雇用確保のため、工業団地への企業誘致などを進めます。	単位施策8－2 道路 単位施策8－3 土地利用・住宅 (55～58)
7	・経済発展の観点からは発展性のある街があればそこには優良企業、優良商業施設もやってくるでしょう。それにより財政も上昇しさらに充実した設備を投入できるでしょう。		単位施策10－1 商工業 (61、62)

No.	ご意見・ご提言	豊明市の考え・対応	総計との対応 (素案該当ページ)
8	・専門性の高い教育機関、日進市と連携して文化、芸術を高める施設。例えば充実した図書館、種々の有料活動室、軽食店を統合した公民館の建設。カラットは学校を再利用した活動室となってコンセプトは良いのですがスペースや設備が小さ過ぎ大人には非常に使いづらいです。一度下見しましたが息苦しさを感じました。モデル例を挙げれば、名古屋市のアートセンター、東京都多摩市の中央図書館、永山公民館など他の街にもあるかも知れません。東京都の方は軽食店がありリーズナブルな価格で提供され、ハンディキャップの方々が給仕、調理等で働いていました。高齢者の方々も鍵管理、清掃、事務処理等で働いています。市民参加型のイベントができる大きなスペースもあり各種活動の発表の場にもなります。	「誰もが健康で楽しく活動できるまち」をめざすまちの姿に掲げ、ライフステージに応じた多様な学習機会の提供や誰もが利用しやすい魅力ある施設運営を目指します。 また、効果的・効率的な行政運営を行うため、適切な公共施設マネジメントに取り組みます。	単位施策5－2 生涯学習・図書 (49、50)
9	・大きな将来像を達成するには30年では足りないかもしれないこそ今から着手するため、具体的な全体像を創造することが現実につながります。豊明市だけではなく周辺自治体の連携も加味しながらそれぞれの特技を生かし互いに発展してゆくことが暮らす人々の幸福につながるでしょう。AIを筆頭に最新デジタル技術やデジタルネットワークを多く活用することで問題解決、相互連絡が迅速になり効率も上がります。 ・発展し魅力のある街にはおのずと人が集まり、市民の力で住みやすくなっていくものだと思います。 市政は優秀なコーディネーターの役割となってもらいたいです。	持続可能な行政運営を行うため、民間活力の導入や自治体間連携による取り組みを進めることで、市の抱える課題の解決策や新たな価値を生み出し、質の高い行政サービスを提供します。	行政推進項目3 効果的・効率的な行政運営を行う (65)
10	・前後駅、中京競馬場駅方面から、市役所方面や沓掛方面に抜ける道が不便です。 あと、自転車の走行しやすい道ではないため、自転車が車道を走っていると巻き込みそうで怖いので車道の改善、もしくは新たな道はできないものかと思っています。	本計画は、計画的かつ総合的なまちづくりを推進するための目標を明らかにするものです。具体的事業は、毎年度策定する実施計画や各課の個別計画において取り組んでまいります。 安全な道路環境を確保するため、現場状況を把握し、有効幅員拡幅など道路改良工事を実施します。	単位施策8－2 道路 (55～58)
11	・未婚、子供が居ない女性への冷遇や嫌がらせは、いわゆる『嫌なら産め』という暗黙の了解なのだろうか。 そこまでして産ませることが少子化対策なのでしょうか。 それがあるからこそ、子育て世帯が常々『大変、苦しい』などと言われてもなかなか同調出来ないが、世間的には同調が当たり前の風潮なので仕方ないと思っているが… 何故独身者に意地悪してまで同調を求めるのか理解できない。それが社会の仕組みと言われたら何も言えない。そうなると多様性を尊重できる社会にはなり得ないなと思っている。 税金が高いわりに自分が受けられる行政サービスがない。	本市としては、市民の皆さまが多様な価値観を尊重しながら安心して暮らせる環境を目指しており、県内初の「LGBTともに生きる宣言」をするなど、理解促進に向けた施策を推進しています。 一方で、社会全体で人口減少が進む中、将来を見据えて子どもたちが未来も住み続けられるまちにするために、子育て世代への支援施策を強化しており、市としても一定程度支援は必要だと考えます。加えて、さまざまな立場、価値観、多様な人格を尊重し、一人ひとりがしあわせを実感できるような施策を展開します。	基本構想 (22)

2025 年 10 月 31 日

豊明市長 小浮 正典 様

豊明市総合計画審議会  
会長 新沼 英明

第 6 次豊明市総合計画案について(答申)

令和 6 年 2 月 5 日付豊企第 16 号で諮問のありました第 6 次豊明市総合計画につきまして、下記の意見を添え、別添のとおり答申いたします。

記

1. 第 6 次豊明市総合計画は、多くの市民の声を聞いてまちづくりの視点及び課題を整理してきました。市民ニーズに基づいて設定した将来都市像「未来へつなぐ みんなでつくるしあわせのまち とよあけ」の実現に向けて、4つの分野を重点戦略としてまちづくりを進め、市民・団体・企業など多様な主体と行政がともに手を取り、協力しながら施策を推進することで、市民一人ひとりがしあわせを実感できるまちを目指してください。
2. 計画の推進にあたっては、めざすまちの姿の進捗や達成状況について、指標や事業実績などを活用して市民と行政の双方で定期的に検証・評価するとともに、特に、未来を担う子どもたちの意見を積極的に取り入れるなど市民参画型の進行管理を行うことで目標達成のための施策・事業改善に継続的に取り組んでください。

以上

## 今後の進捗管理について

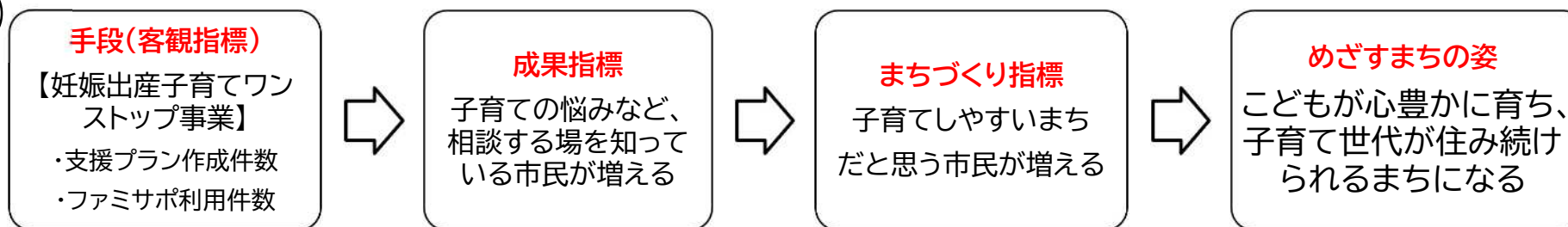
### 1. 各指標を定期的に確認し、実施手段を改善しながら事業の発展につなげます！ 📌

まちづくりの達成状況を図る”ものさし”として、各階層においてそれぞれ指標を設定しました。

毎年、子どもアンケート及び市民アンケートを実施することでまちづくりの進み具合や市民皆さまの満足度を数値で確認し、ニーズに合った効果的な施策を展開していきます。

また、各事業をどれだけ実施したのかなどの実績としての数値も把握し、事業実施の効果を把握します。

例



### 2. 市民参画型の進行管理を行います！ 📌

計画期間中の各施策の進捗状況や新たな課題など、定期的に市民と行政の双方で確認し、評価・検証を行います。



とよあけ未来カイギのように

### 3. 子どもの意見を積極的に取り入れます！ 📌

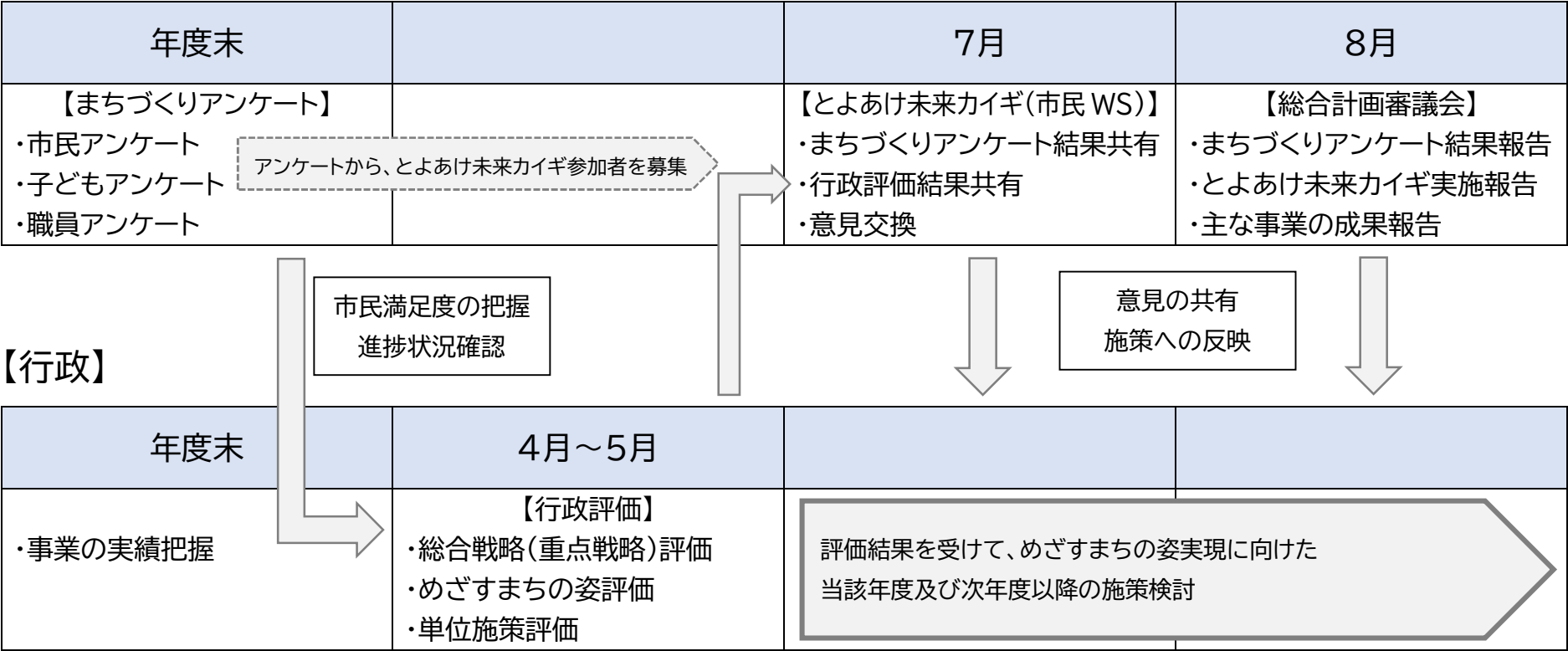
第6次豊明市総合計画策定にあたり、中高生など子どもの声を聴き、取り入れてきました。策定後も、意見交換する場を設けるなどして子どもたちから出た意見を施策へ反映していきます。





進行管理の主なスケジュール

【市民参画】



【行政】